

保険薬局（集計2）

【基礎数値】

1. 有効回答施設数

	平成17年調査	平成19年調査
法人	673	818
個人	70	81
全体	743	899

2. 常勤従事者の状況（1施設当たり）

（単位：人）

	法人		個人		全体	
	平成17年調査	平成19年調査	平成17年調査	平成19年調査	平成17年調査	平成19年調査
薬剤師	2.6	2.4	1.2	1.0	2.4	2.3
事務職員	2.0	1.8	1.4	1.1	1.9	1.7
その他の職員	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4
総数	4.9	4.6	2.9	2.4	4.7	4.4

3. 処方せん取扱枚数（1施設当たり）

（単位：枚）

	法人		個人		全体	
	平成17年調査	平成19年調査	平成17年調査	平成19年調査	平成17年調査	平成19年調査
処方せん取扱枚数	2,036.2	1,681.2	1,276.8	1,035.4	1,964.6	1,623.0

（注）「処方せん枚数」とは、調査月1ヶ月間の1施設当たり平均処方せん枚数である。

【収支状況】

保険薬局（集計2）

（1施設当たり収支）

	法人					個人					全体				
	金額		構成比率		金額の 伸び率	金額		構成比率		金額の 伸び率	金額		構成比率		金額の 伸び率
	17年6月	19年6月	17年6月	19年6月		17年6月	19年6月	17年6月	19年6月		17年6月	19年6月	17年6月	19年6月	
	千円	千円	%	%	%	千円	千円	%	%	%	千円	千円	%	%	%
I 収入	13,215	12,446	99.9	99.7	-5.8	7,965	6,775	100.0	99.9	-14.9	12,721	11,935	99.9	99.7	-6.2
1. 保険調剤収入	12,714	11,637	96.1	93.3	-8.5	7,479	6,421	93.9	94.7	-14.1	12,221	11,167	96.0	93.3	-8.6
2. 公害等調剤収入	53	34	0.4	0.3	-35.8	24	13	0.3	0.2	-45.8	50	32	0.4	0.3	-36.0
3. その他の薬局事業収入	449	775	3.4	6.2	72.6	462	340	5.8	5.0	-26.4	450	736	3.5	6.2	63.6
II 介護収入	16	33	0.1	0.3	106.3	0	5	0.0	0.1	0.0	15	30	0.1	0.3	100.0
1. 居宅サービス収入	13	15	0.1	0.1	15.4	0	5	0.0	0.1	0.0	12	14	0.1	0.1	16.7
2. その他の介護収入	3	18	0.0	0.1	500.0	0	0	0.0	0.0	0.0	3	16	0.0	0.1	433.3
III 費用	12,515	11,634	94.6	93.2	-7.0	7,233	5,944	90.8	87.7	-17.8	12,017	11,122	94.4	93.0	-7.4
1. 給与費	2,472	2,030	18.7	16.3	-17.9	1,062	661	13.3	9.8	-37.8	2,340	1,907	18.4	15.9	-18.5
2. 医薬品等費	8,856	8,433	66.9	67.6	-4.8	5,448	4,713	68.4	69.5	-13.5	8,535	8,098	67.0	67.7	-5.1
3. 委託費	47	41	0.4	0.3	-12.8	12	1	0.1	0.0	-91.7	44	37	0.3	0.3	-15.9
4. 減価償却費	134	120	1.0	1.0	-10.4	98	85	1.2	1.3	-13.3	131	117	1.0	1.0	-10.7
(再掲)建物減価償却費	53	44	0.4	0.4	-17.0	34	34	0.4	0.5	0.0	51	43	0.4	0.4	-15.7
(再掲)調剤用機器減価償却費	35	25	0.3	0.2	-28.6	19	16	0.2	0.2	-15.8	33	24	0.3	0.2	-27.3
5. その他の経費	1,006	1,010	7.6	8.1	0.4	613	485	7.7	7.2	-20.9	969	963	7.6	8.0	-0.6
IV 収支差額（I＋II－III）	717	844	5.4	6.8	—	732	835	9.2	12.3	—	718	843	5.6	7.0	—
施設数	673	818	—	—	—	70	81	—	—	—	743	899	—	—	—
処方せん枚数	2,036	1,681	—	—	—	1,277	1,035	—	—	—	1,965	1,623	—	—	—

(注) 1. 「構成比率」は、収入にあつては「I 収入」と「II 介護収入」を合算した金額に対する各収入科目の金額の割合であり、費用にあつては「I 収入」と「II 介護収入」を合算した金額に対する各費用科目の金額の割合である。

2. 「処方せん枚数」とは、調査月1ヶ月間の1施設当たり平均処方せん枚数である。

3. 個人立の保険薬局の収支差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。